

No.224

2019年
2月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

図書館休館のお知らせ

坂本図書館では、毎年3月に『特別整理期間』として約1週間のお休みをいただいております。今年も3月4日(月)からお休みとなります。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご了承ください。

なお、返却ポストは通常どおりご利用いただけます。

休館の期間 3月4日(月)～11日(月)



雑誌・図書を差し上げます

保存年限を過ぎた雑誌や除籍した図書を差し上げます。3月24日までは冊数制限を設けていますので、その範囲内でお持ち帰りください。

期間 3月12日(火)～
(休館日を除く)

時間 10時～18時30分
(土日は10時～18時)

場所 坂本図書館

冊数 雑誌…1人3冊まで
図書…1人30冊まで
英字新聞…1人1束まで



《図書館からのお願い》

図書利用カードに登録されている住所から引越された際には、図書館窓口で変更の手続きをお願いします。

住所だけでなく、お名前や電話番号等の登録内容が変わった場合も同様の手続きをお願いします。

展示のご案内

展示期間 2月21日まで

★メイン展示

「Happy Valentine」

今回の展示はバレンタインデーにちなんで、

- ・ #恋とチョコレート♡
- ・ 誰かに作ってあげたいハンドメイド
- ・ 女性に読んでほしいおすすめの本

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

「チョコレートだいすき」・「普通の服でおしゃれになれる」
「チョコレート工場の秘密」・「恋するいきもの図鑑」

★サブ展示

「にゃん にゃん にゃん」

「2月22日」の猫の日になんで、猫に関連する絵本や小説のほか、飼育書など展示していますので、ぜひご覧ください。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

「いい女、ふだんブツ散らかしており」

阿川佐和子・著
中央公論新社

テレビでもおなじみ、阿川佐和子さんの『婦人公論』に連載された42編を収録したエッセイ集。父の死後のドタバタ手続きや自身の家の片付け事情、母の認知症、老いの自覚、旅など阿川さんの日常を等身大に描いた一冊。暗くなりがちな話題も独特の感性で明るく軽快。テンポ良く読み進められます。阿川さんと同世代の方なら、「あー、一緒！」と共感する点が多いのではないのでしょうか。

(山口)

(児童)

「『いたいっ！』がうんだ大発明」

バリー・ウィッテンシュタイン・文
クリス・スー・絵
光村教育図書

今ではあたり前に使っている「ばんそうこう」どうして生まれたのか、考えたことがありますか？

この本は、ぶきっちょな妻のためにと考えた、アールさんのやさしさが形になり、世界中に広まるまでを描いた一冊です。

ばんそうこうを使った時、この本の話子どもと一緒に話すのも楽しいのではないのでしょうか。

(尾崎)

(一般)

「基本が身につく書道の教科書」

青山浩之・著
池田書店

書道のいいところは、筆や墨、紙といった最低限の道具を揃えればすぐ始められることです。

筆使いや字形の整え方、美しくかけるコツがよくわかる一冊となっています。書き初め、お祝い、のし袋など実用例も収録されています。書道をやってみたい方は、ぜひこの本を見てから始めてみてください。

(岡村)

(児童)

「火星を知る」

三品隆司・著
岩崎書店

火星って本当にいるのかなあ。火星にも火山があるって知ってる？火星と地球はどこか似ていて何か違う!?そんな謎や未知数の可能性を秘めた火星の姿を写真やイラストで丁寧に解説。

なぜその様な地形ができたのか？読み進めながらバーチャルの火星探検を楽しんでみませんか。

(樫田)

「わたしの秘かな楽しみ」

松沢まり子

むかし狐がおりました。狐は人間に恋をしてしまいました。狐は人間の女の子に化けて彼女に近づきました…。

今年のセンター試験の国語の古典の問題に出題された作者不詳の「玉水物語」。室町時代の作品らしい。問題文を読んでとても面白かったので全文を読みたいと思い、このあたりの時代の作品集に載っておるであろうと

「新日本古典文学大系 室町物語集」（岩波書店）を上下巻買ってみた。ところが載っていない。どうして載っていないのよ、と調べたら、どうやら十数冊ある「室町時代物語大成」の第八巻に掲載されているらしい。（ウィキペディアによる）住吉物語などもここに入っていた。図書館に行けば新日本古典体系は置いてあるのでチェックをすればよかったのだが、と反省しきり。皆さん、調べものには図書館へ参りましょう。

新日本古典体系は「枕草子」や「古今和歌集」や平安時代の日記ものなどを持っているという古典好きだし、まあ、「室町時代物語」も楽しそうなお話が載っていそうなのでよしとした。ネットで「玉水物語」を調べると京都大学貴重資料デジタルアーカイブというサイトがあり、そこでちゃんと写本を見ることができる。書写者、書写場所不明。しかし、それでも美しいひらがなで絵入りでちゃんと残っていることにわたしは感動する。読んだ人々が受け継いでいった写本というものの。昔はこうして本は写本で受け継がれていた。日本だけでなく世界中で。文字ができてパピルスや木に書かれ、やがて紙が出来、爆発的にそれは広まり…今普通にあるもの全てに歴史がある。すごいよね。

「玉水物語」の作者はいったい誰だろう。どんな人が書いたんだろう。今年のセンターの古典の問題はいつもより異色らしい。センター試験で読んだ受験生さんたちも面白いなと興味を持ち、本当は経済学部志望だけど文学部に変えようかな～…などと思う人はいないかしら。

狐はとても繊細で狐とは思えない（狐さんすいません）優しさを持っておりしみじみとしたお話なのだ。興味を持たれた方はネットであらすじなどをお読みになってくださいね。

思えば古典が好きだった。高校の古典は文法が細かくてちっとも面白くなかったが、読むことが好きなのであり、文章の内容自体が物語好きにはたまらないのだった。高校の教科書の長恨歌などは想像して描いた女性の絵などの落書きがいっぱいだった。枕草子などのところには十二単の女の子、とか。もちろん髪はものすごく長く描いた。だいたい先輩から譲り受けた教科書だったので先輩の落書きもあって、思えば楽しい教科書だった。先生の講義はあまり聞かず、ぼーっと物語を想像して夢見心地の授業だった。まあ今でもぼーっとしているのは変わらないのだが。

そんなわたしの近年の楽しみは日曜日の日本経済新聞に掲載されているクロスワードと文化面の漢字学者阿辻哲次さんの書いている「遊遊漢字学」だ。…何だか書いてて地味な趣味だな(笑)と思うが、なかなか面白いんです。クロスワードはやってて自分の興味がいかにか文系に傾倒しているかわかる。その関係の問題しかわからない。一、二問くらいしか解けない時もある。例えば「オルコットの小説『若草物語』で4人姉妹の長女の名前」などはすぐわかる。「長野県北部にある仁科三湖で最も北に位置する〇〇〇湖」などはちっともわからない。歴史、経済、文学、芸術、マスコミ、地理等幅広い出題のこのクロスワードパズルはとても面白い。次週に解答が載るのだが、解答を見て「ああ、そうだった！」と思い出すこともあるし初めて知る言葉もある。新しい言葉を知ることが未来に向かうようで楽しい。

読み書きをできなかった人が読み書きを習い、夕陽を見て初めて「ああ美しい」と感じたという話をわたしは好きだ。言葉表現する文字がなければわたしたちの文明はこれほど発展していなかっただろう。写本をしてまで読みたかった本。「更級日記」の作者のように『源氏物語』を貸してもらってわくわくしながら読んだ、という今も昔も変わらない人間の姿をわたしたちは読むことができる。昔の人達に感謝の言葉を伝えたい。そしてどうしても書きたかった人々、いえ、書かずにはいられなかった人たち。彼らは無名でも本が残っていてわたしたちに喜びと幸せの感受をくれるのだ。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|-----------------------------------|-------|
| 0 | 「メモの魔力」 | 前田裕二 |
| 1 | 「かみさまは小学5年生」 | すみれ |
| 2 | 「軍事の日本史」 | 本郷和人 |
| 3 | 「この先をどう生きるか」 | 藤原智美 |
| 4 | 「シニアの心臓が危ない!」 | 下川宏明 |
| 5 | 「行列のできる奇跡のケーキ屋さん」 | 大濱史生 |
| 6 | 「凡人のための地域再生入門」 | 木下斉 |
| 7 | 「一切なりゆき -樹木希林のことば-」 | 樹木希林 |
| 8 | 「手紙とはがきの書き出しと結びきちんとマナー
ハンドブック」 | 杉本祐子 |
| 9 | 「わが夫啄木」 | 鳥越碧 |
| 9 | 「トラペジウム」 | 高山一実 |
| 9 | 「14歳、明日の時間割」 | 鈴木るりか |
| 9 | 「ほどなく、お別れです」 | 長月天音 |
| 9 | 「海苔と卵と朝めし」 | 向田邦子 |
| 9 | 「甘味女子は異世界でほっこり暮らしたい」 | 黒辺あゆみ |
| 9 | 「幽霊解放区」 | 赤川次郎 |
| 9 | 「散歩するネコ」 | 群ようこ |
| 9 | 「実は昼ドラちっくな!?百人一首」 | 関根尚 |
| 9 | 「九月の恋と出会うまで」 | 松尾由美 |
| 9 | 「ゴールデン街コーリング」 | 馳星周 |
| 9 | 「90歳を生きること」 | 童門冬二 |
| 9 | 「跳ぶ男」 | 青山文平 |
| 9 | 「W県警の悲劇」 | 葉真中顕 |
| 9 | 「天命」 | 岩井三四二 |

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|------------------------------|------------|
| 「クセがつよい妖怪事典」 | 左古文男 |
| 「らくだい記者と白雪のドレス」 | あんびるやすこ |
| 「ほんやのねこ」 | ヒグチユウコ |
| 「火星を知る!」 | 三品隆司 |
| 「くろグミ団は名探偵 -消えた楽譜-」 | ユリアン・プレス |
| 「俳句ガール」 | 堀直子 |
| 「5分後に意外な結末ex -バラ色の、トゲのある人生-」 | 桃戸ハル |
| 「おばけのおばけやしき」 | 吉田純子 |
| 「ぼくはくまですよ」 | フランク・タシュリン |
| 「工場長のひみつのおひるね」 | みずのよしえ |
| 「やぎこ先生いちねんせい」 | ななもりさちこ |

絵 本



- | | |
|-----------------------------|--------|
| 「おしりたんてい プブツゆきやまのしろいかいぶつ!?」 | トロール |
| 「だいじょうぶじゃない」 | 松田もとこ |
| 「いちごちゃん」 | さとうめぐみ |
| 「そらのうえのそうでんせん」 | 鎌田歩 |
| 「ゆきのよるに」 | いもとようこ |
| 「いっしょがいいよね」 | あべはじめ |
| 「わるものパパのだいだいだーいファン」 | 板橋雅弘 |
| 「まるまるぽぽぽん」 | 柏原晃夫 |
| 「まめまきできるかな」 | すとうあさえ |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。

図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp